



11月5日は「津波防災の日」です。安政元年（1854年）大きな津波被害をもたらした「安政南海地震」の発生した日に因んだものです。津波への備えは沿岸部だけのものではありません。旅先・出張先で津波に遭遇することも想定し、日頃から災害をイメージすることが重要です。さて、REICニュースは今年度もひきつづき通常の半分サイズにて発行いたしますこと、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

コンテンツ

- ◆ REIC活動報告：第8回「震災対策技術展」大阪
- ◆ 事務局より
- ◆ 地震データ：2021年7月～9月



REIC活動報告：第8回「震災対策技術展」大阪

全国的に新型コロナウイルスのデルタ株が猛威を振り、大阪でも緊急事態宣言が発出された中で、第8回「震災対策技術展」大阪が、8月19日(木)・20日(金)コングレコンベンションセンターで開催されました。二日間の来場者は、約3,498人を数え、出展関係者などへの入退場時の検温チェックや会場内における展示ブースの間隔を広げるなどの感染対策が施され、主催者側の気の使いようが肌で感じられました。

REICでは、国立研究開発法人防災科学技術研究所(以下、防災科研という)からの委託業務で進めている「リアルタイム地震被害推定情報」の認知度向上と実証実験の拡大を目指すとともに、南海トラフ巨大地震への備えとしてREICが開発した「緊急津波避難情報システム」の関西方面における社会実験のユーザー拡大を狙って、限られたスペースを一杯に使い、防災科研の展示ブースと隣合わせの場所でパネル展示での参加となりました。

製造業やインフラ機関、行政機関など展示内容に興味を示した機関は26となり、詳細な情報交換を行うことが出来た二日間でした。

南海トラフ巨大地震の発生確率が高まる中、企業の防災力向上に少しでも貢献できればとの思いが伝わればと願うばかりです。



事務局より

例年2月初旬に開催される「震災対策技術展 横浜」に合わせて、国立研究開発法人防災科学技術研究所とREICで共同開催していた「国土セイフティネットシンポジウム」は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、昨年度に引き続き今年度も延期することとなりました。なお、第26回「震災対策技術展 横浜」は、令和4年2月3日(木)・4日(金)にパシフィコ横浜にて開催予定です。最新の防災関連情報を取得できるこの機会に是非ご来場下さい。

※今後の感染の広がりなど、状況により変更される場合があります。開催内容や最新情報については「震災対策展 横浜」のホームページをご確認ください。

地震データ：2021年7月～9月

地震データ：2021年7月～9月 震度4以上

発生日	発生時間	震央地名	緯度	経度	深さ	M	最大震度
9月19日	17:18	岐阜県飛騨地方	36° 20.7' N	137° 37.4' E	0 km	5.3	震度4
9月16日	18:42	石川県能登地方	37° 30.3' N	137° 18.0' E	13 km	5.1	震度5弱
8月22日	11:24	福島県沖	37° 36.4' N	141° 38.2' E	60 km	5.1	震度4
8月18日	1:31	広島県北部	35° 03.5' N	133° 02.5' E	6 km	4.3	震度4
8月16日	5:03	滋賀県北部	35° 27.0' N	136° 20.0' E	13 km	4.6	震度4
8月2日	9:37	広島県北部	35° 03.7' N	133° 02.7' E	6 km	4.4	震度4
7月27日	5:19	福島県沖	37° 20.3' N	141° 20.5' E	81 km	4.5	震度4
7月26日	11:16	青森県東方沖	41° 28.7' N	142° 08.2' E	52 km	5.2	震度4
7月17日	20:50	伊予灘	33° 38.3' N	131° 51.3' E	76 km	5.1	震度4
7月16日	13:19	八丈島近海	33° 16.2' N	139° 28.8' E	16 km	5.4	震度4
7月11日	9:16	石川県能登地方	37° 30.2' N	137° 16.2' E	13 km	3.9	震度4

気象庁「震度データベース」による、2021年7月～9月末までの地震データを掲載します。

上記リストは、震度4以上の地震を発生日順で列記しています。

右記地図※は、震度1以上の地震の発生場所を記しています。

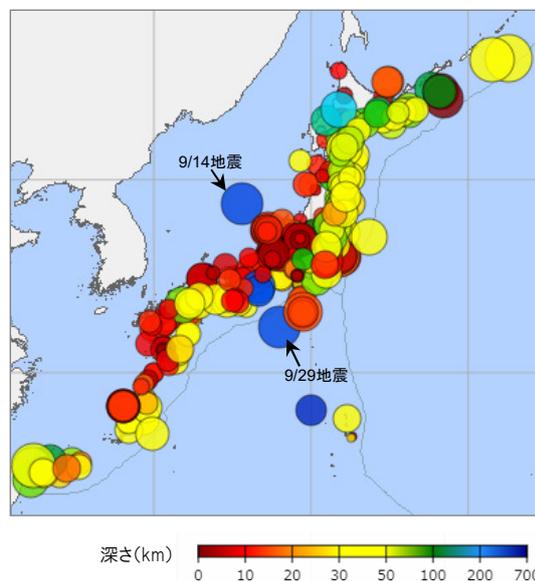
※気象庁「震度データベース検索」の改変により、地図表記が新しくなりました。

なお、この間に発令された緊急地震速報は、警報：1回(石川県能登地方)、予報：220回となります。

9月14日(火)7時46分に東海道南方沖(M6.2)の地震があり、震源から約300km離れた東京・千代田区、茨城県笠間市・取手市、栃木県鹿沼市・高根沢町で震度3を観測しました。また、9月29日(水)17時37分に日本海中部(M6.1)の地震では、北海道、青森県、岩手県、福島県、茨城県、埼玉県における太平洋側の広範囲で震度3を観測しました。今回の現象は「異常震域」と呼ばれるもので、震源が非常に深い場合、海洋プレートの内部で地震の揺れが弱まらずに伝わるため、震源より遠い関東や東北などでも揺れが観測されたということです。

(右記地震データ図：9/14発生地震、9/29発生地震に矢印しました。)

地震データ：2021年7月～9月 震度1以上



編集
後記

新500円硬貨の発行が11月に予定されています。今回で三代目となる500円硬貨は、偽造防止のためバイカラー（2色）になり、裏面の縁に小さく500YEN・JAPANと刻印されるそうです。キャッシュレスが進む昨今ですが、新しい硬貨を手にとったら、新旧のデザインを見比べてみてはいかがでしょうか。



 **REICニュース** No.23

編集・発行 特定非営利活動法人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会

〒111-0054 東京都台東区鳥越2-7-4 エス・アイビル4F

TEL: 03-5829-6368 FAX: 03-3865-1844

URL: <http://www.real-time.jp/> E-Mail: reic_jimukyoku0305@eq7realtime.org

発行日 2021年10月

※本文記事・写真等は許可無く複製、配布することを禁じます。